委員長 それでは、皆さんお集まりなので始めてよろしいでしょうか。ちょっと定刻前ですけれども、皆さんお集まりなので、始めさせていただきます。

休憩を解いて再開いたします。 (10時28分)

一般会計予算の歳出は款別に審査をいたします。それでは、40ページの議会費から67ページの総務費、108ページから113ページの土木費の項、住宅費と消防費の審査を行います。御質問のある委員は挙手をお願いいたします。

中津川委員 55ページです。シティプロモーションのおもてなし推進事業に要する経費の中の、シティプロモーション用商品開発委託料1,512万5,000円が計上されています。前年度は750万円の予算計上でしたけども、倍増してるんですね。この事業の具体的な内容、それから、この事業によってどのような効果・成果に結びつけようとしているのか、その辺について伺いたいと思います。私からは1点お願いします。

定住少子化担当室係長 今、中津川委員からですね、歳出予算55ページ、シティプロモーションおもてなし推進事業に要する経費のうちの、シティプロモーション用商品開発委託料1,500万円余の金額のですね、御質問を頂戴いたしました。委員おっしゃるとおりですね、令和6年度の当初予算においてはですね、約750万円ほどを計上をさせていただいております。今回倍増という形になっております。この内容でございますが、シティプロモーションにですね、資する商品の開発ということで、実際にはですね、オリジナルのビールを製作している委託料になります。令和6年度、非常にそのですね、販売が好調だったということで、補正予算を計上させていただいて対応したことは御記憶にあらうかと思えます。そういったですね、状況を踏まえまして、本年度はですね、当初からその倍増のですね、1,500万円ほどの委託料を計上をさせていただいたものでございます。効果につきましてはですね、こういったもののですね、委託料で作りました商品がですね、広範囲にふるさと納税でですね、返礼品として使われたことでですね、歳入のですね、ふるさと納税の寄附金額の増額にも結びついてという効果がございます。以上でございます。

中津川委員 ということは、この事業はもう継続的に来年度以降も実施していくというふ

うな方向でしょうかね。

定住少子化担当室長 担当といたしましては継続的にやっていきたいと思っております。ただしながら、一つですね、毎年のようにこのふるさと納税につきましては総務省が基準をちょっとずつちよつとずつ厳しくしているところもございます。今の現行基準ですと問題ございませんけれども、今後ですね、総務省がどのような形の基準を通達してくるかということもございまして、担当としては継続していきたくて思っておりますけれども、そのですね、通達の内容を十分ですね、鑑みながらやっていきたい、そのように思っております。以上でございます。

参事兼政策推進課長 補足です。まずですね、このビールの5年度の実績を見ますと、3,381万円の寄附がございました。今、6年度実績ベースを見ますと、倍の7,645万4,000円超のですね…が見込まれるということは、もう2倍以上のですね、寄附が見込まれる。そのためにはやっぱり継続していくことが非常に大事で、これがなくなるとですね、今、6年度を見ますと、このビールの形がですね、ゴルフを超えて一番多い状況になってございまして、引き続きですね、このビールについては、普通のビール会社に頼むとまずやってくれません。どこもやってくれませんので、ある御殿場のほうにお願いをして、特別にその部分の発注のみということの事業なので、ここは継続してやっていきたいと私のほうは考えております。以上です。

中津川委員 ありがとうございます。終わります。

委員長 ほかに質問ございますでしょうか。

古谷委員 まず、55ページ、お願いします。2点ほどあります。

55ページの町政連絡費の中の広報の全戸配布、ポスティングの関係です。これ昨年から配布のほう委託で行っていただいていると思っておりますけれども、これに対して苦情とか何か、そんなのがあるかどうかということと、今、この前も何自治体という、何か本会議の中でもありましたけど、ちょっと聞き漏れましたんで、その何自治体…自治会がやってるのか。また、今年度ですね、配布は同じ業者というか、人が対応していただくのかどうか、その辺が決まっていればですね、教えていただきたいと思っております。

それと、109ページ。住宅建設費のところですね、家屋購入費ということで595万1,000円あるんですが、昨年もこれ同じように594万8,000円あったんですけども、この内容をですね、教えていただきたいというふうに思います。

それと、それに関連してですね、147ページにこれの財源ですね。その他財源ということですが、これがどんな財源なのか教えていただきたいといます。よろしくお願いします。

庶務係長 まず1点目のポスティングの委託に関する問合せ…御質問に御回答したいと思います。まずポスティング、今年度、令和6年度についての苦情等あったかというところではありますけれども、やはり慣れないところもありまして、かなりの数がございました。ただしですね、今現在は配布漏れなどでですね、主にそういう配布漏れの苦情だったんですけども、その件数もかなり減っております。実例を挙げますと、例えばですね、5月、開始してすぐの5月はですね、79件の配布漏れの電話がありましたけれども、2月につきましては7件の配布漏れの問合せまで減ってきているというところがございます。住民の皆様にはですね、いろいろと御迷惑をおかけしましたけれども、今は落ち着いてきているというところがございます。

今ですね、令和6年度、ポスティングを導入してる自治会の数はですね、19自治会になってございます。令和7年度からですね、新たに5自治会の方々にですね、追加で入りたいよというふうに意向を聞いておりますので、19に5が加わりまして、来年度は24自治会がポスティングで対応させていただくというところがございます。

来年度、令和7年度の業者につきましてはですね、先日出札を行いまして、業者が今度変わります。業者の名前は…。

古谷委員 結構です。

庶務係長 よろしいですか。というところがございます。以上でございます。

総務課長補佐 予算書109ページの家屋購入費についてお答えいたします。こちらは町屋のラ・メゾンカラフル町屋と、籠場住宅ですね、そちらの建設費用について、30年間で割賦払いしているものになります。財源といたしましては、入居者さん

の家賃をこれに充当しております。以上です。

委員長 町の回答よろしいでしょうか。

古谷委員 ありがとうございます。ポスティングのほうですけども、最初の頃は苦情が大分あって、配布漏れがあったということですが、引き続き、今度業者が変わるということですから、二の舞を踏まないようにですね、ぜひやっていただきたいというように思いますので、よろしく対応のほうお願いしたいというように思います。

それと今の109ページのほうなんですけども、ちょっと今聞き漏れちゃって、グランメゾンと籠場住宅の関連の家屋購入費ということですけども、その財源としては入居費、家賃を充ててるということだということを確認させていただきました。もう一回ですね、このグランメゾンと籠場住宅の、毎年これは発生するものなんですか。ちょっともう少し詳しくいただければというように思います。よろしくをお願いします。

総務課長補佐 こちらまず対象となっているのが、町屋にございますラ・メゾンカラフル町屋。町屋のラ・メゾンカラフル町屋と、あと籠場住宅と一般的に言ってますけれども、かわねコート河内。かわねコート。この2棟の建設費をですね、平成…。

委員長 大きい声ではっきりお願いします。

総務課長補佐 平成31年から令和30年3月まで、30年間の割賦払いで毎年支払っていくものでございます。以上です。

古谷委員 ありがとうございます。内容大体分かりましたので、よろしくお願ひしたいと思います。

あと関連していいですかね。147ページのその他財源がいっぱいあるんですが、ここで聞きちゃってよろしいですか。（私語あり）

委員長 147のときに再度。

古谷委員 投資的事業の概要というところの、ここのその他という財源がありますけども、上からですね、どういう財源が当たっているのか、ちょっと分かれば教えていただきたいというふうに思います。

委 員 長 全部ですと大変だと思うんですが、例えば、みやまグラウンドのナイター照明とか、そうですね、分かる範囲でちょっとお願いします。

財 政 係 長 今、投資的事業のところの、その他財源ところですね、ちょっと上から分かる範囲で回答させていただきます。まず総務費につきまして、かなん沢地域集会所施設の関連の工事のその他財源のところは、自治会のほうから頂く工事費の負担金及び公共施設整備基金のほうの基金の充当になります。

続きまして、商工費のほうの、みやまグラウンドナイター照明改修工事につきましては、こちら、その他財源のところは2つありまして、雑入のほうで、t o t oの補助金、スポーツ振興くじ補助金が入っております。それと、こちら公共施設整備基金のほうの基金を繰り入れておりますので、その基金の繰入れの収入になります。

その下ですね、寄自然休養村管理センター工事等につきましては、こちらでもですね、公共施設整備基金のほうを充当させていただいておりますので、その基金の収入が主なものとなっております。

その商工費の下ですね、ハープ館の屋上防水工事と子どもの館の屋根改修工事、こちらにつきましても公共施設整備基金のほうを充てさせていただいておりますので、基金収入となります。

その下に行かせていただきまして、土木費のところ76とありますのは、ちょっと待ってください、これ少し、ちょっと即答ができないです、ごめんなさい。その次ですね、用地…あ、すみません、道路の負担金の関係で、すみません。

その下ですね、新松田駅周辺整備工事用地買収費ですね、こちらにつきましては、新松田駅ですね、整備基金のほうから繰入れをしております。

一番下の段ですね、家屋購入費につきましては、先ほど総務課のほうから説明をしたとおりとなります。

続いて、消防費のほうに行かせていただきまして、消防団の第5分団の詰所の工事整備その他収入の850につきましては、こちら公共施設整備基金の基金の繰入金でございます。

一番最後にですね、教育費のほうの生涯学習センターの工事関連ですね、こちらにつきましては、330万円分ですね、上の…こちらにつきましては、教育施設の整備基金から繰り入れている分と公共施設整備基金のほうの基金のほうから繰り入れている金額がございます。説明は以上になります。

古 谷 委 員 ありがとうございます。ほとんどが基金からの繰入れということになると
思います。大変ありがとうございました。以上で終わります。

委 員 長 ほかに質問ございますでしょうか。

中 津 川 委 員 先ほどの土木費については、ちょっと質問ちょっとさせてもらえなかったんですけど、ここで再質問させてもらって、よろしいでしょうか。（「まだ。」
の声あり）

井 上 委 員 今、総務消防です。

中 津 川 委 員 失礼しました。

委 員 長 それでは、ちょっと確認します。議会費、総務費、土木費、住宅費、消防費
の審査でございます。

議 長 いや、土木費と今言っちゃってるのよ。

井 上 委 員 違う違う、土木費の住宅。

委 員 長 130ページ。

議 長 土木費の。

委 員 長 土木費の住宅費ということでございます。すみません。
ほかにございますでしょうか。

井 上 委 員 1点ですね、お願いをします。ページ109ページでですね、先ほど、住宅建設
費の中の家屋購入費は前者が質問されましたので、その下のですね、町営住宅
基金の積立金500万円、利子分13万5,000円を、ここで予算計上をして積み立て
るということですがけれども、住宅のほうの基金のですね、積立て後の平成7年
度末、幾らの額になるのか。あとですね、その、改修事業等、大規模改修とか
通常改修なんかもあるかと思うんですけれども、それらに対応した積立てがで
きているのか、お伺いをいたします。

総務課長補佐 ただいまの町営住宅基金積立金についての御質問に回答いたします。こちら

は、先ほど申し上げた住宅のですね、大規模修繕に備えるための積立金でございます。令和6年度末時点で2,500万です、約2,500万と利息分ぐらいになっております。こちらは、その修繕計画の中で、大きなものとしては大体10年ごととか計画しておりますので、そちらに備えて積み立てているものでございます。以上です。

井上委員 6年度末で2,500万円で、ここで500万円積み立てるので7年度末はというふうに先ほどお聞きしたんですけれども、それは、じゃあ3,000万円ということで。大規模改修は10年後と言ったんですが、何年なの。令和でも西暦でもいいんですけれども、何年に大規模改修、幾らぐらいを予定されているのか、分かればお願いをいたします。

総務課長補佐 失礼いたしました。町屋住宅の大規模修繕がですね、令和16年度に予定されております。

委員 長 金額のほうもお願いいたします。

総務課長補佐 金額につきましては、3,800万円を予定しております。

井上委員 分かりました。終わります。

委員 長 ほかに質問はございますか。

北村委員 57ページ、総務管理費の電算管理費、デジタル化推進費の13番、議事録作成支援システム等使用料。これ多分新しく79万2,000円が追加されたのかなと思いますけれども、システム使用料としてはそれなりの値段かなと思いますけど、どのようなシステムなのか、ちょっと概要も教えてください。

次が、同じページで、総務管理費の12番、地域交通対策費、乗合バス運転事業補助金。多分、これ、バス増発に伴って富士急さんをお願いしている部分かなと思うんですけど、これ来年度減額となるような、何か根拠というか、そういったところがあるのかっていうところを御教示ください。

またですね、同じ項目です。新モビリティサービス推進事業。令和8年度から自主運営を目指していますけれども、なかなか今の状況だと、しんどいかなというようなところはあるんですけど、該当するような補助金等々は何か、もくろみとかいうか、そういったところはあるのかどうか、ちょっとお聞かせ

ください。よろしく申し上げます。

政策推進課長補佐 順次、御回答させていただきます。まず、57ページの議事録作成支援システム等使用料についてです。こちらは、文字どおりなんですけども、議事録等ですね、作成する、自動で作成できるようなシステムを導入しようと試みるものです。基本的には、文字起こし用のアプリを使うようなイメージになります。そして、この下ですね、事務用備品という22万8,000円なんですけど、こちらですね、その精度を高めるためにスピーカー、マイクみたいなものをですね、3台導入して、なるべく職員の再度入力したりとかですね、し直したりとかいう手間を省くようなイメージで、この2種類を、この予算計上とさせていただきます。

それとですね、59ページの乗合バス運行事業補助金の減額の主な理由なんですけども、こちらですね、昨年度までの予算の中ではですね、増発便ということで、2つの路線を見ていたところですが、ただ、令和6年の4月にですね、富士急湘南バスのモビリティバスですね、1台の1便がですね、具体的に言うと、夜ですね、1時間早めになってしまったということがございました。こちらを踏まえまして、町として、その増発便の1台分を減額というふうにさせていただいたため、この分が減額というふうになっておるものでございます。

また、61ページの補助金の関係です。こちらにつきましては、基本的に公共交通の維持存続に関しましてはですね、国のほうとしては、地域公共交通確保維持改善事業補助金交付要綱というのを用意してまして、こちらに基づいてですね、民間のバス会社さんなんかも、赤字の補填みたいなものをですね、していただいているというものになっております。ただ、こちらについては、デマンドバスの実証運行、実験の段階ではですね、使えないというふうに言われているもので、この本格運行に移行した際にはですね、この活用を踏まえていきたいと考えておりまして、こちらは国交省のほうと順次、調整を図っていきたくと思っています。

ただ、これ、本会議の中でも、うちの参事がですね、お答えをしたと思うんですけど、おおむね200万円程度の補助金というふうになりますので、こちらが

上限というようなイメージになりますので、ちょっと、それだけではどうかなという部分もごございます。そのためですね、ほかの、例えばほかの都道府県ですと、県のほうで補助金を用意してくれたりとかいうこともございますので、今度、今もそうなんですけど、個別にですね、神奈川県の方とも、いろいろと相談をさせていただきながら、県のほうでも何か準備していただけないかというところまで働きかけていきたいなというふうに考えております。以上です。

北 村 委 員 1点目、議事録作成支援システム等使用料、機械でできるところは全て機械でやってもらったほうが、職員さんの負担もだし、効率よくなると思うんですけども、ちょっと、どこ宛てって、すごい難しいなと思うんですけど、議会費でも議事録作成委託料で171万円っていうのが上がっているんですよ。今回、多分、総務のほうで議事録作成支援システム等使用料を、多分初めて使うのかなと思うんですけど、これがうまく動いたときには、その議会費の議事録作成委託料等々も含めて、町として支出を圧縮するみたいな形のことは考えてられますか。

政策推進課長補佐 議会費のほうでは、これまでどおり、多分、本会議ですとかいう部分で活用を考えているものだと思います。町のほうとしてはですね、それ以外の部分を、例えば時間外の圧縮なんかにつなげていけるように、そういったことでですね、うちの課だけではなくて、この庁舎内全体の課で、うまくこの部分をですね、共有する中で、職員の時間外の削減につなげていきたいなというふうに考えておるものでございます。以上です。

北 村 委 員 今のところは、議会費の議事録作成みたいなのところも連携してというのは、検討には入ってないっていうイメージですかね。

参事兼議会事務局長 議会費の議事録作成委託につきましては、速記社のほうに委託して製本までやっていただくものになっておりますので、委員会等ですとか、各種会議におきまして行います。AIによるものは今のところ考えておりませんが、議員の皆様の方で、調整いただければと思います。

北 村 委 員 3番の新モビリティサービス推進事業のところ、ちょっと、まあ、全く何に

もないよってという話ではないというふうなこと、少し落ち着きました。そういったところでもですね、相談っていうようなところと、新たな補助金等々については、どうしても必要なところなのかなというようなところがありますので、鋭意進めていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。以上です。

参事兼政策推進課長 北村委員のおっしゃるとおりですね、この新モビリティにつきましても、あらゆる手段を使ってですね、この名前がですね、のるーと足柄っていうことでもあります、当初つくったときにですね、広域連携していこうということがございます。今、開成町、大井町、引き続きですね、本格運行の前にはですね、山北町等エリアに拡充するという方向で予算も計上している中でですね、県のほうにはですね、この広域でまずやっていく中で、そういう、神奈川県はどのような支援をしてくれるのかということで、もう、これ1市5町ですか、5町の首長さんがですね、もう県要望がすごいんですね、ここは。なので、引き続きですね、広域でやる以上はですね、その負担をですね、支援をしていただきたいということで、引き続き補助金ですね、を努めていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

委員長 ほかに質問いかがですか。よろしいですか。

ないようですので、議会費から総務費、民生費の公災害救助費、それから土木費の項である住宅費、消防費は終了いたします。（私語あり）失礼しました。民生費は違います。再度訂正します。議会費から総務費、総務費、土木費の項の住宅費、消防費は終了します。

暫時休憩とします。職員の方は入れ替わってください。11時10分から再開いたします。
(10時58分)